



念願の優勝カップを手にする  
坂本一馬

## 坂本一馬(別府)が初優勝

### 4 アンダーで 2 位に 5 打の大差

最終日は 28 日、決勝ラウンドが行われ、この日 2 アンダー、70 で回った 56 歳の坂本一馬 (別府) が通算 4 アンダー、140 として初優勝した。

首位タイでスタートした坂本はこの日、前半 2 バーディー、1 ボギーで 1 つスコアを伸ばすと、後半も 3 バーディー、2 ボギーとし、2 位に 5 打差をつける大量リードで逃げ切った。坂本の優勝スコアの 4 アンダー、140 は 1994 年 (平成 6 年) 大会 (芥屋) で霍本謙一 (当時アマ、熊本空港) が記録した 9 アンダー、135 に次ぐスコア。

5 打差、通算 1 オーバー、145 の 2 位に 56 歳の新穂芳昌 (嘉徳) が入り、さらに 2 打差の 3 位タイは地元の金山正浩 (くまもと中央、63 歳) と初日首位タイの山浦正継 (志摩シーサイド、59 歳) の 2 人だった。

### 田辺十郎 (チェリー宇土) がエース

また、田辺十郎 (チェリー宇土) がこの日、7 番 (173 ヤード、パー 3) でホールインワンを記録した。

気象条件は晴れで気温 27.6 度、西の風 1 m (正午現在)。

この試合の結果、8 オーバー、152 の 17 位タイまでの 20 人と、21 位タイの 7 人のうちマッチングスコアカードで選ばれた 1 人の計 21 人が

11 月 9 日～11 日、熊本空港 CC で行われる第 33 回日本シニアゴルフ選手権への出場権を手にした。

## 自身にとっても初のビッグタイトル

### 坂本、40 歳からのゴルフで頂点へ

「むちゃくちゃうれしいです」。アテストを済ませ、「おめでとう」の言葉を受けると、坂本は日焼けした顔に汗と涙をにじませ、こう口にした。

初日はボギー 1 つだけという好調なゴルフで 2 アンダーをマークして、首位タイ発進。最終組のこの日は、山浦と新穂という百戦錬磨の 2 人が相手だった。

前半、故障明けの山浦がスコアを落とし、相手は新穂に絞られた。新穂も前半 1 アンダーをマークして離れず、後半に入ると、



ホールアウト後、握手する坂本一馬Ⓔと  
新穂芳昌Ⓔ。奥は山浦正継

11番で坂本がボギーとし1打差に縮まった。しかし、ここから、坂本のエンジンがかかった。13、14、16番とバーディーを重ね、17番では5打差。最終18番ではピン左1.5メートルに付けながら、急な下りスライスのラインを「無理に入れに行って3パットするよりも、(安全に)寄せた」という余裕の2パットでのホールアウトだった。

熊本の九州東海大(建築科)出身。ゴルフとの出会いはこの大学時代のゴルフ同好会からというが、「ちょっと握った程度ですぐやめた」という。卒業後は大分の杵築で神社・仏閣を対象にした建築業を営んでいたが、「目標としていた3件の神社・仏閣建築を実現したから」と、アパート経営に転身。このとき、知人に勧められてクラブを握ったのが、本格的なゴルフとの出会いだった。

以来、「根が凝り性なもので…」というように、ゴルフにのめりこみ、「シニアでタイトルを」との目標を掲げてきた。

そして迎えた九州シニア。今年は青春を送った熊本で日本シニアが行われる。「九州で勝って、出たかった」という坂本。その強い気持ちは、最終組の山浦、新穂2人に動じることなく、「淡々と自分のゴルフができたと思う」と言う。そのあまりのマイペースぶりは特に後半、2人に焦りを生じさせたようでもあった。

11月の日本シニア選手権。大きな九州タイトルを手にした坂本だが、日本選手権への抱負を、と水を向けると、「日本シニアを取りに行きます」。力強く言い切った。(Kiku)



追い上げならず  
2位の新穂芳昌



けがからの復帰戦を3  
位タイと善戦した山浦  
正継

## 2位に終わったディフェンディング・チャンピオンの新穂芳昌の話

「あれだけパットを入れられると、かないません。彼とは10年ぶりぐらいに一緒に回ったけど、10年前に比べて確実に20ヤードは飛距離が伸びていた。まだまだ成長しているんだなと驚かされた。私? そうですね、日本選手権でリベンジ、といきたいですね」



山浦正継 (志摩シーサイド)

坂本一馬 (別府)

## 初日 2 アンダーの 70 で並ぶ

第 1 ラウンドが 27 日、熊本県菊池市のくまもと中央カントリークラブ (6815 ヤード、パー 72) で 166 人 (うち棄権 1 人) が出場して行われ、2 アンダー、70 で並んだ 59 歳の山浦正継 (志摩シーサイド) と 56 歳の坂本一馬 (別府) の 2 人が首位に立った。山浦はこの日、5 バーディー、3 ボギー、坂本はボギー 1 つの 3 バーディーと安定したラウンドで後続に 2 打差をつけた。

2 打差の 3 位は前年優勝の新穂芳昌 (嘉穂、56 歳) でパープレーの 72。さらに 1 打差、73 の 4 位タイに地元の金山正浩 (くまもと中央、63 歳)、鶴木伸久 (ブリヂストン、55 歳)、野田尚登 (有明、56 歳)、板井良春 (三重、56 歳) の 4 人がつけた。

### 5 打差に 27 人がひしめく混戦模様

晴れて気温 28.2 度、北北東の風 2 メートルと絶好のコンディション (正午現在)。アンダーパーをマークしたのは 2 人で、首位と 5 打差に 27 人がひしめく、混戦模様の初日となった。

この日の結果、7 オーバー、79 の 68 位タイまでの 84 人が最終日の決勝ラウンドへ進出した。

初日首位タイ発進の山浦正継



### けがからの復帰戦にかける山浦 vs 初優勝に意欲の坂本

昨年のアマの試合中にカート事故に遭い、右足太ももを骨折。入院 3 カ月、リハビリではほぼ 1 年を棒に振った。「このシニアを復帰戦として照準を合わせて練習ラウンドを重ねてきた。初戦としては上出来でしょう」とラウンド後の山浦だった

飛ばし屋で知られるだけに、「2 打がほとんどウエッジで…」とアウトは 3 バーディー、1 ボギーで 2 アンダー。後半もしぶとく粘って 2 バーディー、2 ボギーとまとめ、初日首位に立った。

2008 年日本シニアオープンでローアマ、2008 年九州シニア優勝。九州というよりも日本のシニア界では知られた存在だ。その山浦が、欠けるものがあるとすると、日本シニアのタイトル。問題は右足の具合だが、「今年は九州で開催される。めったにないチャンス。ここをとって一気に」と狙いもはっきりしている。

対する坂本。インスタートだったが、幸先良く 10 番でバーディーを奪うと、17、18 番で連続バーディーとし、ボギーなしでターンした。そして、後半は 5 番 (パー 5) で、スプーン (3W)、クリーク (5W) と攻めながらサイドバンカー、ガードバンカーにつか



安定したゴルフで首位タイの坂本一馬

まって「悔いが残る」ボギーとした。しかし、全体的には、「拾って拾ってしのいだ感じ」という。

一昨年 of 全日本パブリックアマで優勝歴を持つ。首位タイ発進にも浮かれることなく、「今日はショットがピンに絡まなかった。まだ（調子は）本物じゃない」と言い、九州シニア初優勝に意欲十分だ。(Kiku)



### 「平常心で」ディフェンディングチャンピオンの新穂芳昌

○…（パープレーで首位に2打差の3位）試合前、仲のいい山本己沙雄プロにドライバーショットでアドバイスをもらったら、だいぶ良くなった。九州のシニアチャンピオンは日本シニアで勝って当然という風潮もある。プレッシャーに負けず、明日は、平常心で戦いたい。

巻き返しての連覇を狙う  
新穂芳昌⑤



### 「ドライバー次第…」ホームコースで優勝チャンス of 金山正浩

○…（73のスコアで4位タイ）3バーディー、4ボギーで1オーバー。首位に3打差。今日はドライバーが曲がったけど、2～3mのパットがよく入った。このコースは距離もあるから、明日は一にも、二にもドライバーの出来次第だと思う。

ホームコースでのタイトル奪取なるか金山正浩⑤



## 栄冠は誰に 明日(27日)から、「くまもと中央CC」で九州選手権



55歳以上で、JGAハンディキャップ17.4までを対象にした競技で、27日～28日の2日間、熊本県菊池市の「くまもと中央カントリークラブ」(6815ヤ、パー72)で行われる。

出場をエントリーしているのは、計781人が参加して行われた11県地区(4月)での予選通過者のほか、前年大会や日本シニア選手権での上位入賞者、各県地区研修会シニア部門ランク1位者の計166人(26日現在)。前回覇者の56歳、新穂芳昌(嘉穂)をはじめ、09年大会優勝の武田幸一(麻生飯塚、59歳)、08年の山浦正継(志

摩シーサイド、59歳)、07年松本康秀(臼杵、63歳)…と歴代優勝者がそろって参加する。

今年は第33回日本シニア選手権が11月9日～11日、地元九州の熊本空港CCで開催されるため、その出場権(上位21人)を目指した熱い戦いが見られそうだ。

会場の「くまもと中央カントリークラブ」は、名匠として名高い上田治氏がコース設計し昭和38年(1963年)に開業。平成13年(2001年)には、用具・器具の発達によって変化したゴルフに応じたバンカーや植栽の再配置、グリーンのリント化など全面改造した。阿蘇外輪山の外の丘陵に広がるフラットなコースだが、距離もありバンカーや樹木で変化に富んでいる。プロ、アマトーナメントの開催実績も数多く、古くは第3回九州アマから2度の九州オープン(89、98年)、そして、男女のプロツアーのほか日本シニアオープン選手権(2007年)の会場にもなっている。



初日の予選ラウンドは27日午前7時30分、アウト、イン同時にスタートする。